



## 八地申第26号

『お客さまの安全性と利便性が確保されるまで八高・川越線

ワンマン運転の解除を求める申し入れ』 団体交渉開催！ その①

1. 現在発生している映像が不鮮明になる事象の原因究明と対策を実施するまで、八高・川越線ワンマン運転を一時解除すること。

(会社回答)

ワンマン運転に必要な設備は整備しており、ワンマン運転を一時解除する考えはない。

### 輸送サービス労組

- ◆映像が不鮮明になる事象はどのように把握しているのか？
- ◆原因は把握できているのか？
- ◆どのように確認しているのか？
- ◆不鮮明な場合どのように対応するのか？
- ◆実際の状況を確認しているのか？
- ◆実際の現場を見ずカメラの特性という認識では職場の声に込んでいるとは言えない。現場の社員が苦労するだけである。
- ◆安全と判断しているのか？
- ◆前後切替を行うことは異常時の取り扱いではないのか
- ◆通常の乗降扱いを行えることがベストである。

### JR東日本会社

- ◆乗務員の報告書から。
- ◆メーカーに確認しているが、現状ではわからない。
- ◆現地で写真を撮り、メーカーに問い合わせしている。八王子支社・大宮支社で確認しているが、異常ではなくカメラの特性であるのでカメラを交換するという考えはない。
- ◆前後切替を行い、見やすい方で対応してもらおう。ワンマン運転について支障はないと考えている。現場から声を聴いているがワンマンを解除する予定はない。
- ◆現場には行かず、異常時共有システムの映像を見て確認をした。
- ◆意見は理解するが、全駅全列車で報告されていないので現地に行くとはならないことから調査しなくて良いと判断した。
- ◆実際に現状のカメラで対応できていることから、調査は不要と判断している。
- ◆異常時での取り扱いだと認識しており認識は一致する。前後切替での対応が続くことが良いとは考えていない。他にやれる事はあるか検討している。
- ◆乗務員に苦労はお掛けするが、引き続き対応し何かあれば報告書の提出を。

**現地に行かず画像のみで問題はないと判断！三現主義の崩壊を表す発言だ！このような会社の姿勢では安全は守られない！**

その②へ続く



## 八地申第26号

『お客さまの安全性と利便性が確保されるまで八高・川越線

ワンマン運転の解除を求める申し入れ』 団体交渉開催！ その2

2. 運転士が運転業務に集中できる環境を確保するために、接続については駅指令が連携して完結できるような体制を構築すること。

(会社回答)

現状で対応されたい。

### 輸送サービス労組

- ◆接続に関して問題があると認識している。会社の認識は？
- ◆接続は誰が把握するものか？
- ◆接続を気にする事で事象を起こす危険がある。運転士は運転に集中できる体制がワンマン運転のあるべき姿。
- ◆以前の交渉では3者で連携するとなっていたが、現実には連携できていない。接続のあり方を考えるべきである。
  
- ◆高麗川駅での対応は？
  
- ◆川越駅での無通告の取り扱いについて臨機応変な対応を行ったが、基本が指令に伝わっていないのではないか。接続は3者の連携が重要ということであるが、連携がとれていない。
- ◆実際川越駅からは情報提供はない。現状を調査し対応を検討してほしい。

### JR東日本会社

- ◆問題があるというより課題があるという認識である。運転士側には問題はない。
- ◆指令室で行うものである。
- ◆ATOSは1分単位でしか遅れが把握できず見えない遅れもあることから、3者(駅・指令・運転士)で協力してほしい。
- ◆指令は意見交換などを行っており、何もしていないわけではない。駅も指令を同じ機械で運行を把握しており、把握できないものもある。何もしていないわけではない。
- ◆作業ダイヤを把握していないのでわからないが、指令室に以降されて接続に対応できる人がいなくなっている。体制としては対応できる。
- ◆指令室に伝わっていないわけではないという考えであるが、再度周知していく。現状を変える予定はなく現状で対応して欲しいが、今後変更を検討することもあり得る。
- ◆大宮支社になるが、ビジネス推進部を通じて確認を行う。

### 確認事項

現状運転士に負担がかかっていることから、サービスを低下させないために駅・指令も接続について連携をとれる体制を取る

安全・サービスレベルを低下させないために、あるべき姿は何か、職場から対策を創り上げ、よりよい交通機関を創り上げよう！